

令和4・5年度 第2回社会教育委員会議高津市民館専門部会 摘録

日 時：令和4年10月14日（金）13時30分～15時35分

会 場：高津市民館12階 大会議室

出席者：渡部委員、田村委員、角田委員、松崎委員、志水委員、仙北谷委員、迎委員、佐藤委員

事務局：坂尾館長、鈴木分館長、細谷係長、下間係長、八木職員（記録）

傍聴者：なし

1 開 会（進行：下間係長）

- ・開催要件が満たされたことを確認。
- ・資料確認（下記、配布資料）
 - ① 令和4・5年度第2回高津市民館専門部会 次第
 - ② 令和4・5年度第2回高津市民館専門部会 名簿
 - ③ 川崎市社会教育委員会議規則（資料1）
 - ④ 令和4年度第1回高津市民館専門部会摘録（資料2）
 - ⑤ 令和4年度工事実績（資料3）
 - ⑥ 令和4年度生涯学習支援課（高津市民館・橘分館）事業一覧（資料4）
 - ⑦ 令和4・5年度高津市民館専門部会 調査審議事項（案）（資料5）
 - ⑧ 高津市民館だより 第278号、第279号
 - ⑨ プラザ橘だより No. 138号、No. 139号
 - ⑩ 高津市民館 事業チラシ「はじめての子育て講座」等
 - ⑪ 橘分館 事業チラシ「たちばなファミリーコンサート」等

2 館長挨拶

- ・坂尾館長より、挨拶。

3 部会長挨拶

- ・迎部会長より、挨拶。

4 議事事項（進行：迎部会長）

(1) 第1回専門部会摘録（案）について (資料2)

- ・資料2に基づき、下間係長（事務局）より、内容説明。
→摘録に関して、質疑応答・異議なし。

(2) 令和4年度高津市民館・橘分館工事進捗状況について (資料3)

- ・資料3に基づき、下間係長（事務局）より、高津市民館工事執行実績の報告。
→工事の影響により、1月～2月は施設利用を休止（受付等の業務は、継続できるよう調整中）。
- ・資料3に基づき、下間係長（事務局）より、橘分館工事執行実績の報告。

質疑応答

- 松崎委員 工事をするにあたっての、市民への案内・周知はどのような方法行っているのか？
下間係長 特に規模が大きく、休館にかかる工事は、令和3年度は市民館だより・市政だより・HP・ふれあいネットで情報を掲載している。令和4年度も引き続き、同様の方法で情報を発信している。
- 迎 委 員 市民への分かりやすい周知は非常に重要。今後の周知はふれあいネットのみか？
下間係長 今後は、ふれあいネット・HP・市民館だよりで、より詳しい内容（工事日程・受付業務の実施等）を周知していく予定。現段階では3月分の予約に関して、市民との大きなトラブルは起こっていない。
- 迎 委 員 エレベーター内や市民館・マルイ入口で、案内を掲示したらどうか？
下間係長 関係機関（マルイ等）と調整し、休止の案内を掲示する方向で進めていく。
- 田村委員 工事は2月末で終了し、3月からは通常どおり、大会議室やホールを含め、施設利用は可能なのか？
下間係長 3月からは基本的に通常通り、全館貸館予定。3月分の抽選会も実施・周知している。しかし昨今の情勢で工事に係る部品の入荷が一部遅い状況であるため、3月も工事が続いている可能性がある。ただ可能な限り、市民活動を行えるよう、体制を整えている。またふれあいネットでも、3月からの予約可能とする予定。
- 田村委員 コロナ接種会場は、12月末までで終了なのか？
坂尾館長 11月末まで実施し、別会場に移動する予定。
- 志水委員 工事の影響により、川崎市地球温暖化防止活動推進センター実施の事業について、休止せざるを得ない状況になっている。今後も工事に関する情報共有は、密にお願いしたい。
- 迎 委 員 川崎市地球温暖化防止活動推進センターや、地域教育会議等、関係団体への説明は今後も密に、丁寧に行ってほしい。

以上

(3) 令和4年度高津市民館・橘分館事業進捗状況について

(資料4)

- ・資料4に基づき、細谷係長より、事業内容について説明。
- ・鈴木分館長より、橘分館事業について、補足説明。

質疑応答

- 志水委員 (資料4について) 最終的な講座参加者を知りたい。
細谷係長 終了した事業については、今後は参加者数を記載していく。
- 志水委員 MANABU(夏)の参加者数を知りたい。また12月17日は、川崎市地球温暖化防止活動推進センターで、全館(11階)を使用した大規模イベントを行う予定。環境局を通して、イベントスペースも利用申請している。MANABU(冬)の期間と重複しているが、17日の施設利用はどうなるのか。
細谷係長 事業担当者と確認を行い、ご迷惑をおかけしないよう、17日は除いて実施する方向で調整する。

迎 委 員 家庭地域教育学級「はじめての子育て講座」の受講条件はあるのか。
細谷係長 受講者の子どもが、生後3か月～1歳未満を対象としている。
迎 委 員 コロナ禍（直近3年間）で参加できなかった子育て世代も、講座を受講できるようにしてほしい。
細谷係長 今年度の事業だと、3歳児を対象とした市民自主学級「つながる・まなぶ パパママ三年生」講座を開催中。子育て世代の場づくりを行っている。
迎 委 員 このような子育て講座を繋げて、案内（広報）できないか？
細谷係長 子どもの年齢別で講座を一覧にして案内し、実施することは、事業数等の関係で難しい。ただお問い合わせがあった場合は、現在の状況をお聞きし、子育て広場（フリースペース）等の紹介や案内を行っている。
田村委員 MANABUの利用者が少ないのではないのか。他施設での学習スペースは、ほぼ満員である。広報や実施方法に問題はないのか。回を重ねるごとに増えている印象がない
角田委員 広報や実施方法に工夫を加えたらどうか。
細谷係長 いただいた意見を踏まえ、事業担当者と検討していく。

以上

（4）高津市民館専門部会の調査審議事項について

（資料5）

- ・資料5に基づき、坂尾館長より、調査審議事項（案）について説明。
→3つのテーマについて、重点的に取り上げるべきものや、実施方法・内容に関して、ご意見をいただき、講座のあり方を検討していきたい。

質疑応答

佐藤委員 どのテーマもイメージが湧きづらい部分がある。これまで実施した講座の参加者数等から、どれだけの効果があったのかを知りたい。その中で効果が高い事業から、新しい事業を作っていくことが必要ではないか。
田村委員 （資料5・テーマ3について）世代別学習活動とは何か？
細谷係長 今年度から、教育文化会館・市民館・分館社会教育振興事業要綱が変更となり、各世代に分けて事業体系が組まれたことを踏まえ、より利用者が少ない世代（中学生から40代くらいまで）に向けての検証を、テーマ3として挙げさせていただいている。
迎 委 員 40代～50代を対象とした事業は、土日開催が良いのではないか。
細谷係長 成人教室事業「仕事やしんどいを減らす講座」のように、単発事業・オンラインでの開催も実施し、テーマに合わせて土日開催も行っている。
迎 委 員 調査審議事項（案）（資料5）について、趣旨等をより具体的に説明してほしい。
坂尾館長 今後計画する事業について、皆さんの意見を頂戴し、反映していきたい。
佐藤委員 講座を含め、市民館の位置づけや目的を教えてほしい。より多くの市民に使ってほしい、知ってほしいという認識で良いのか。
坂尾館長 より多くの市民に知ってほしいという目的もあるが、参加者数だけでなく、市民の仲間づくりや地域での課題解決につなげることも主たる目的としている。

- 佐藤委員 (資料5・テーマ3「市民館をあまり利用しないのはなぜか？」記載文章)
調査は行っているのか？実情を把握することが大切ではないか。
- 迎 委 員 (資料1・4ページ「高津市民館専門部会」記載文章) 専門部会に、調査審議を委託することとある。ただ広く多くの市民に、調査するのは難しい。
- 田村委員 若い世代は講座を受けるにしても時間的、金銭的余裕がないように感じる。
中学生・高校生にひきつける講座や、高津区の農業を取り上げるのはどうか。
- 角田委員 (感染症流行前の)高津区のこども会議では、農家の見学を行っていた。テーマについても、高津の特徴を取り上げ、人材や地域の教育支援を発掘できるといいのではないか。
- 迎 委 員 ``高津ならではの``の魅力ある講座の中に、テーマ3つを柱として加えたらどうか。
また市民にどんな講座を受けたいか、アンケートを取るのはいかがでしょうか。このアンケート結果を踏まえて、市民の声を反映した講座を実施してほしい。
- 渡部委員 (小学生の参加について) チラシ等を保護者と見て、参加することはあると思う。ただ高学年になるにつれて、忙しくなり、放課後や土日開催であっても、塾や習い事があり、興味があっても参加できない。高校生も部活があって、面白そうであっても参加できないという実情があるのではないか。小学生は体験できること、やって得るものがあるものがあると、飛びついて、その後も興味を持って調べたりする。そのような講座で、かつ学校で学ぶことに近いといいのではないか。
- 田村委員 高津では、文化的な講演会が非常に少ない。20代～30代が参加しそうな講演会を実施したらどうか。
- 迎 委 員 イベントの目玉として、文化講演会などやったらどうか。
- 仙北谷委員 どのテーマも非常に大きい。川崎市、また高津としての地域の特性を考えた上で、テーマを絞るのが良いのではないか。このテーマだと、このような講座が当てはまるなどを伝えてもらえると、今後具体的に考えられるのではないか。
- 松崎委員 橋分館でチラシを見ると、講座回数が5～6回のもが多い。やはり講座回数は5回程度でなければ成り立たないのか。
- 鈴木分館長 市民の学びの場づくりとして、5回程度で企画している講座が多い。ご意見を踏まえて、単発や3回程度の事業実施も検討していく。
- 田村委員 事業チラシを目にする機会が少ない。JRのラック等の配架してみてもどうか。
- 志水委員 参加者数や調査がない中で、テーマが提案されていることに違和感。市民館がどのように使われているか知らない市民（特に若い世代）が多いのではないか。また、広報の方法として、地域の若者のキーマンとつながって、SNSで発信してもらうことや、高津区近辺の小学校・中学校に随時広報していくことが大事ではないか。「シニア」というキーワードが出たが、世代間を問わず、講座を実施する方向がよいのではないか。
- 迎 委 員 高齢社会だからこそ、シニア世代というような枠組みは必要だと思う。お互いに助け合える地域づくりが必要なのではないか。
- 志水委員 そのような地域づくりも、もちろん必要だと思う。ただ色々な世代が一緒に行うことができる講座もあった方がいい。また、シニア世代等に特化して講座を行うので

あれば、高津市民館内に市民が休める場所（椅子や机等）をつくり、施設面でも改善していかないと矛盾が生じるのではないか。テーマによっては、世代を超えて実施していったほしい。やはりアンケート結果等、数字を見たい。

坂尾館長 今後の方向性としては、講座についてご意見をいただき、参考にしていきながら、進めていくという流れでよいか。

迎 委 員 より多くの市民に利用してほしいという思いは、専門部会内で一致している。単発開催の講演会や長期的に講座として実施する等、開催方法を検討してほしい。

仙北谷委員 子どもにも届くように広報を行ってほしい。MANABUも継続して実施してほしい。

坂尾館長 MANABUの広報については、課内でも検討し、工夫していく。また高津の自然・文化資源を活用した事業を検討していきたい。

迎 委 員 今回の専門部会で挙げた意見を、講座に取り入れてほしい。

田村委員 市民館の講座は、全体的に多彩でよいと思う。ただ平和・人権や男女平等といったテーマは重要であると感じている。ヘイトスピーチやジェンダー等のテーマとした講座も検討してほしい。

坂尾館長 調査審議事項については、事業に対するご意見をいただきながら、講座に反映していけるよう、皆さまへ講座の見方に関する切り口を複数提示する方向でよいか。

迎 委 員 その流れで良い。

田村委員 今後、市民館をワクチン接種会場にはしてほしい。市民の文化活動として、公共施設が利用できないと、活動発表の場所（ホール・大会議室）がないため、市民の文化活動に多大な影響を及ぼしたと感じている。

またふれあいネット仕組みの変更（団体カードの廃止に伴う、個人カードへの変更）に関しても、市民に多大なる混乱を招いたと思う。施設運営や今後の利用方法については、市民の声を聞いて、判断してほしい。

以上

5 その他

・今後の開催日程（案）について

・第3回専門部会

日程：令和4年12月9日（金）

時間：13時30分～15時

会場：高津市民館 第6会議室（予定）

・第4回専門部会

日程：令和5年2月25日（土）

時間：13時～17時

会場：橘分館（予定）

備考：令和4年度市民自主学級・市民自主企画事業提案会・選考審査

→第3回・第4回専門部会について、上記の日程で委員より承認ののち、決定。

6 閉会